

かんたん UI パッケージ B (認証モード運用時) 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、「かんたん UI パッケージ B (認証モード運用時)」に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本機能をご利用いただく前に、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA) の商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、およびそのロゴと“コネクティング・シンボル”のマークは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

目次

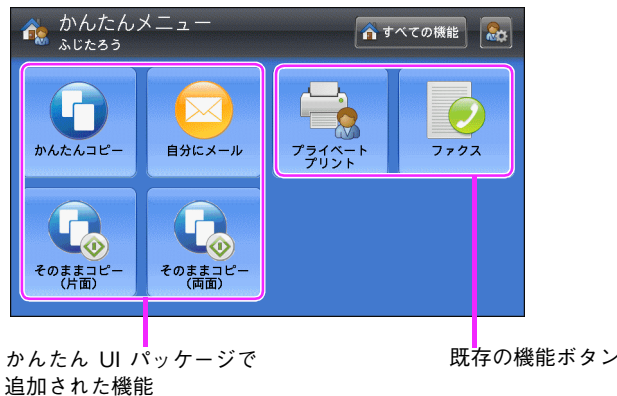
目次	2
かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）について	3
各機能の特長	3
かんたんメニュー	7
かんたんメニューについて	7
かんたんメニューの設定	8
管理者設定	15
トラブル対処	17
注意 / 制限事項	18
かんたんコピー	19
コピーする	19
コピーを中止する	20
各画面について	21
管理者設定	26
トラブル対処	28
注意 / 制限事項	31
自分にメール	33
スキャンする	33
スキャンを中止する	34
各画面について	35
管理者設定	41
トラブル対処	45
注意 / 制限事項	48
そのままコピー（片面）、そのままコピー（両面）	49
各機能の概要	49
コピーする	50
トラブル対処	51
注意 / 制限事項	52
白黒 A4 にコピー（片面）、白黒 A4 にコピー（両面）	53
各機能の概要	53
コピーする	53
トラブル対処	54
注意 / 制限事項	56
ボックス #001 にスキャン（片面）、ボックス #001 にスキャン（両面）	57
各機能の概要	57
スキャンする	57
トラブル対処	58
注意 / 制限事項	60
索引	61

かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）について

「かんたん UI パッケージ」は、複合機でよくお使いの機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

本パッケージをインストールすると、通常のメニュー画面の代わりに、下のような「かんたんメニュー」画面が表示され、そこから本パッケージで追加された機能と既存の機能を利用できます。

「かんたんメニュー」画面の「すべての機能」ボタンを押すと、通常のメニュー画面を表示できます。



注記

- 追加型アプリケーションである「かんたんコピー」、「自分にメール」、「かんたんメニュー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- 「ファクス」を使用するにはファクスキットが必要です。また、「プライベートプリント」を使用するには、お使いの機械でプライベートプリントの設定がされている必要があります。プライベートプリントの設定方法は、『管理者ガイド』を参照してください。

補足

- 「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」は、お使いの機械を本体認証または外部認証の設定をして運用されているかた向けのパッケージです。本パッケージをインストール/アンインストールする手順、および本パッケージに含まれる各機能を使用するために必要な環境設定については、『かんたん UI パッケージ インストールガイド』を参照してください。

各機能の特長

本パッケージで追加される機能は、次のとおりです。

■ かんたんメニュー

よく使う機能だけを大きく表示させたメニュー画面を、機械管理者が作成し、通常のメニュー画面の代わりに表示できます。

補助機能ボタンや使わない機能ボタンを表示しないことで、迷わずに目的のボタンを押すことができます。

ボタンは、本パッケージで追加した機能と既存の機能のボタンを含めて、最大 8 個まで配置することができ、メニュー画面の背景色や各ボタンの表示名はユーザーにわかりやすいように変更できます。

認証モード運用時は、認証ユーザーが個々に自分の使うボタンだけを配置させることもできます。

「かんたんメニュー」の初期設定では、次のボタンが設定されています。

お使いの機械で使用できない機能のボタンも表示されることがあります。お使いの環境にあわせて、ボタンを追加 / 削除してください。



参照

- 詳しくは、「かんたんメニュー」(P.7) を参照してください。
- 機械管理者の設定によって、認証ユーザーによる「かんたんメニュー」の設定を制限できます。の詳しくは、「管理者設定」(P.15) を参照してください。

■ かんたんコピー

通常のコピー画面からよく使う機能を絞った画面で、簡単にコピーできます。

まとめて一枚と両面や製本など、コスト削減によく活用される組み合わせを最初の画面だけで設定できます。

設定した内容は、画面右側にイラストで表示されるので、仕上がりイメージを確認しながら設定できます。



参照

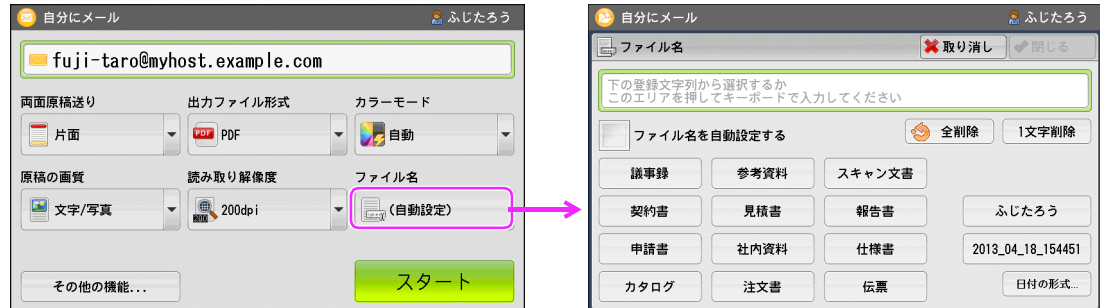
- 詳しくは、「かんたんコピー」(P.19) を参照してください。

■ 自分にメール

スキャンデータを、認証ユーザーのメールアドレス宛てに送信できます。

よく使う設定が最初の画面に集約しているので、設定や確認が簡単にできます。

ファイル名の設定では、自動設定（YYYY_MMDD_HHMM: スキャン開始時の年月日時分）だけでなく、あらかじめ登録されている文字列とユーザー名、日付などを組み合わせる入力ができます。



参照

- 詳しくは、「自分にメール」(P.33) を参照してください。

■ ワンタッチアプリケーション

原稿をセットし、メニュー画面のボタンを押すだけでスタートするので、急ぎのコピーやスキャンに対応できます。

「かんたんメニュー」の初期設定では、「そのままコピー（片面）」と「そのままコピー（両面）」だけがメニュー画面に表示されています。使いたい機能にあわせて、メニュー画面を変更してください。



機能ボタン	説明
そのままコピー（片面）	片面の原稿をそのままの色やサイズでコピーします。
そのままコピー（両面）	両面の原稿をそのままの色やサイズでコピーできます。
白黒 A4 にコピー（片面）	原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、片面でコピーします。
白黒 A4 にコピー（両面）	原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、両面でコピーします。
ボックス #001 にスキャン（片面）	片面原稿をスキャンします。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。
ボックス #001 にスキャン（両面）	両面原稿をスキャンします。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。

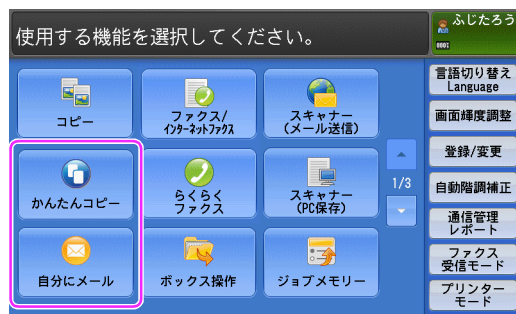
参照

- メニュー画面にボタンを追加する方法は、『かんたん UI パッケージ インストールガイド』の「各機能を使用する前に」>「かんたんメニューの設定」を参照してください。
- 各機能について詳しくは、以下を参照してください。
「そのままコピー（片面）、そのままコピー（両面）」(P.49)
「白黒 A4 にコピー（片面）、白黒 A4 にコピー（両面）」(P.53)
「ボックス #001 にスキャン（片面）、ボックス #001 にスキャン（両面）」(P.57)

通常のメニュー画面を使いたい場合は

「かんたんメニュー」画面を使わないで、通常のメニュー画面からも、「かんたんコピー」や「自分にメール」を使うことができます。

通常のメニュー画面が表示されるので、必要なボタンを追加してください。



参照

- 通常のメニュー画面を表示する方法については、『かんたん UI パッケージ インストールガイド』の「各機能を使用する前に」＞「かんたんメニューを利用しない場合の設定」を参照してください。

補足

- 「かんたん UI パッケージ」をアンインストールした場合は、パッケージに含まれるすべての機能、および、すべてのユーザーの「かんたんメニュー」の設定が削除されます。

かんたんメニュー

[かんたんメニュー] 画面に関する、次の項目について説明します。

かんたんメニューについて	7
かんたんメニューの設定	8
管理者設定	15
トラブル対処	17
注意 / 制限事項	18

かんたんメニューについて

認証ユーザーの [かんたんメニュー] 画面を表示させる方法と、[かんたんメニュー] 画面に表示されるボタンについて説明します。

[かんたんメニュー] 画面を表示させる

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

[かんたんメニュー] 画面が表示されます。

補足

- 表示されていない場合は、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。



■ [すべての機能] ボタン

このボタンを押すと、通常のメニュー画面が表示されます。

補足

- 管理者の設定によっては、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押すことで、通常のメニュー画面を表示させることもできます。設定方法は、「管理者設定」(P.15) を参照してください。
- 管理者の設定によっては、[すべての機能] ボタンが、認証ユーザーの「かんたんメニュー」画面に表示されない場合があります。設定方法は、「管理者設定」(P.15) を参照してください。


■ (かんたんメニュー設定) ボタン

このボタンを押すと、「かんたんメニュー設定」画面が表示されます。

参照

- 設定できる項目については、「かんたんメニューの設定」(P.8) を参照してください。


補足

- 管理者の設定によっては、 (かんたんメニュー設定) ボタンが、認証ユーザーの「かんたんメニュー」画面に表示されない場合があります。設定方法は、「管理者設定」(P.15) を参照してください。

かんたんメニューの設定

「かんたんメニュー」画面では、機能ボタンの追加や削除、機能ボタンの表示名の変更、背景色の変更、認証後の初期画面の設定ができます。

補足

- 機械管理者の「かんたんメニュー」の設定は、認証ユーザーの「かんたんメニュー」の設定の初期値となります。
- 機械管理者と認証ユーザーが設定できますが、管理者の設定によっては、認証ユーザーの「かんたんメニュー」画面に、 (かんたんメニュー設定) ボタンが表示されず、設定できない場合があります。設定方法は、「管理者設定」(P.15) を参照してください。
- 「かんたんメニュー」に特定の外部サービス呼び出すボタンを表示した場合、接続先に設定された名称は表示されず、「外部アクセスサーバーN」と表示されます。「表示名の変更」(P.12) を参照して、適切な表示名に変更してください。

機能ボタンの追加

選択した機能のボタンだけを、[かんたんメニュー] 画面に表示させることができます。


補足

- [かんたんメニュー] 画面に表示できる機能ボタンは、8 個までです。すでに 8 個の機能ボタンが表示されている場合は、「機能ボタンの削除」(P.11) を参照し、不要な機能ボタンを削除してから追加してください。

表示できるボタンは、次のとおりです。

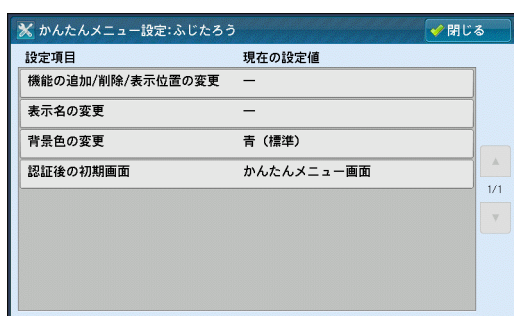
機能ボタンの種類	機能ボタン名
「かんたん UI パッケージ」の機能ボタン 補足 <ul style="list-style-type: none"> • お使いの機種で対応していない機能のボタンが表示されることがありますが、機能は利用できません。 	<ul style="list-style-type: none"> • かんたんコピー • 自分にメール • そのままコピー (片面) • そのままコピー (両面) • 白黒 A4 にコピー (片面) • 白黒 A4 にコピー (両面) • ボックス #001 にスキャン (片面) • ボックス #001 にスキャン (両面)
既存の機能ボタン 補足 <ul style="list-style-type: none"> • お使いの機種で対応していない機能のボタンは表示されません。 	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • ファクス / インターネットファクス • スキャナー (メール送信) • スキャナー (ボックス保存) • スキャナー (PC 保存) • スキャナー (USB メモリー保存) • ボックス操作 • ジョブフロー (ApeosPort シリーズのみ) • ジョブメモリー • 外部アクセス (ApeosPort シリーズのみ) • BMLinkS • スキャナー (URL 送信) • らくらくコピー • らくらくファクス • スキャナー (WSD) 補足 <ul style="list-style-type: none"> • 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。 <ul style="list-style-type: none"> • 文書プリント • デジカメプリント • 認証プリント • セキュリティープリント • サンプルプリント • 時刻指定プリント • プライベートプリント • 親展ボックス (回線 1) • 外部アクセスサーバー • カスタムサービス 補足 <ul style="list-style-type: none"> • お使いの機械にカスタムサービスをインストールしている場合に設定できます。カスタムサービスの詳しくは、弊社営業担当までお尋ねください。 <ul style="list-style-type: none"> • ファクス受信モード • 通信管理レポート • 言語切り替え • 登録 / 変更 • プリンターモード

「かんたんメニュー」画面で、機能ボタンを追加する手順は、次のとおりです。

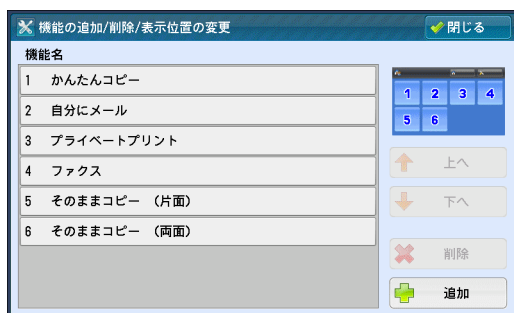
- 1 「かんたんメニュー」画面で （かんたんメニュー設定）ボタンを押します。



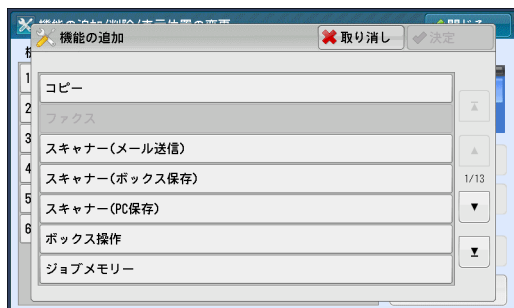
- 2 「機能の追加 / 削除 / 表示位置の変更」を選択します。








- 3 「追加」を押します。



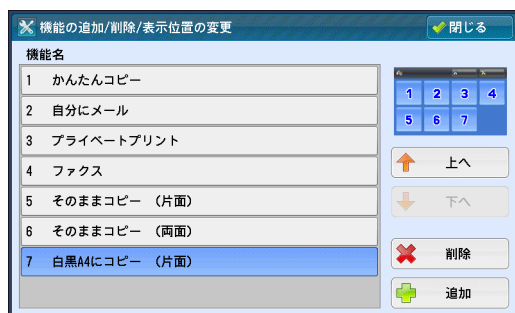
- 4 ボタンを追加する機能を選択し、「決定」を押します。



補足

-  を押すと次のページを、 を押すと前のページを表示できます。また、 を押すと最初のページを、 を押すと最後のページを表示できます。
- 「ファクス受信モード」、「通信管理レポート」、「言語切り替え」、「登録 / 変更」、「プリンターモード」を選択するときは、 でリストの最後のページを表示し、リストの下から探していくことをお勧めします。

5 追加した機能ボタンの位置を調整します。



■ 機能名

「かんたんメニュー」画面に配置する機能ボタンを表示します。

各機能名の先頭にある数字は、画面右上に表示されているイメージ内の数字と一致します。イメージを確認しながら、機能ボタンの表示位置を設定します。

■ 上へ

選択中の機能が一つ上に移動します。

■ 下へ

選択中の機能が一つ下に移動します。

6 メニュー画面に戻るまで、「閉じる」を押します。

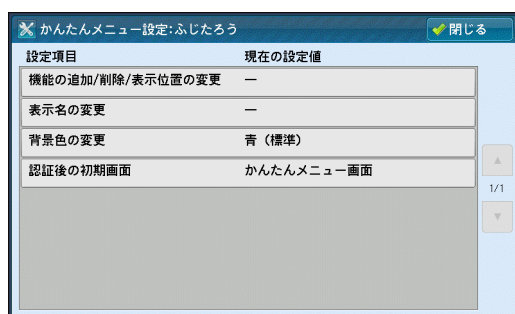
機能ボタンの削除

「かんたんメニュー」画面に表示されている機能ボタンを、削除できます。

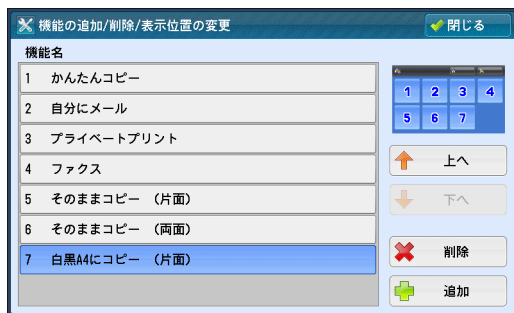
1 「かんたんメニュー」画面で (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



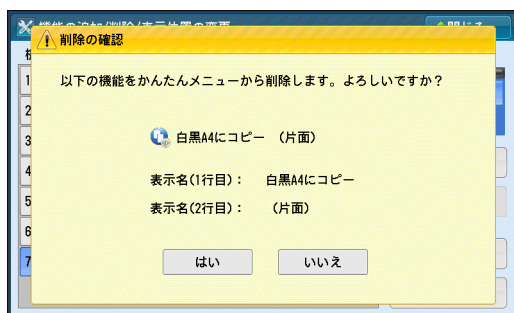
2 「機能の追加 / 削除 / 表示位置の変更」を選択します。



3 削除する機能ボタンを選択し、[削除] を押します。



4 [はい] を押します。



5 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

表示名の変更

[かんたんメニュー] 画面に表示される機能ボタンの表示名を変更できます。

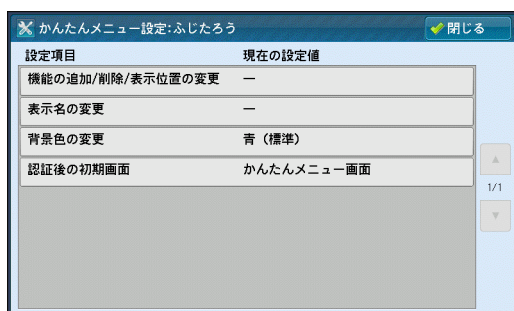
補足

- 言語を切り替えると、変更した表示名が正しく表示されない場合があります。

1 [かんたんメニュー] 画面で (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



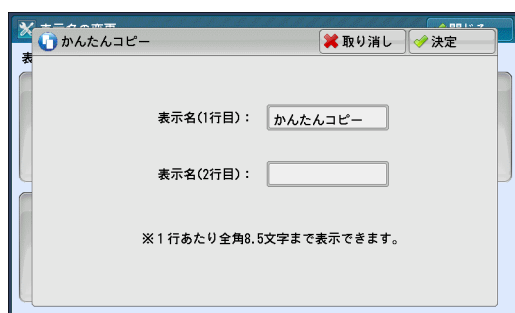
2 [表示名の変更] を選択します。



3 表示名を変更するボタンを選択します。



4 キーボードを使用して、新しい表示名を入力し、[決定] を押します。



補足

- 最長2行（1行あたり全角で8文字（半角で17文字）以内）の名前を設定できます。

■ 表示名（1行目）

1行目に表示される文字を指定します。

■ 表示名（2行目）

2行目に表示される文字を指定します。

5 変更名を確認し、[閉じる] を押します。

6 [閉じる] を押します。

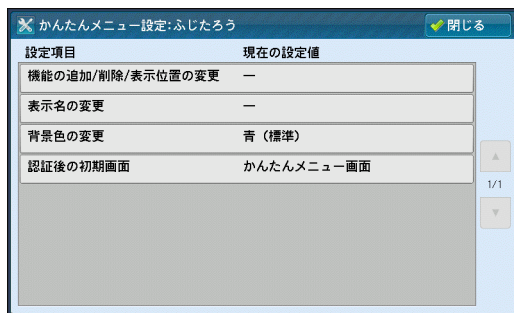
背景色の変更

[かんたんメニュー] 画面の背景色を変更できます。

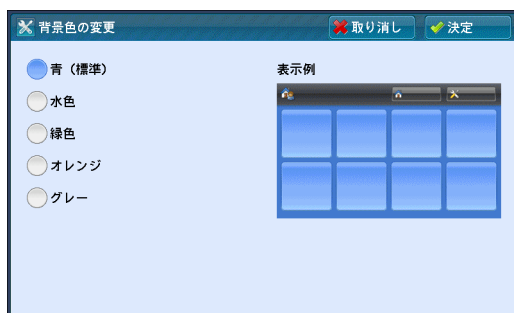
1 [かんたんメニュー] 画面で (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



2 「背景色の変更」を選択します。



3 背景色を選択します。



4 「決定」を押します。

5 「閉じる」を押します。

認証後の初期画面

プライベートプリントを利用している場合、認証後の初期画面をジョブ一覧画面に変更できます。

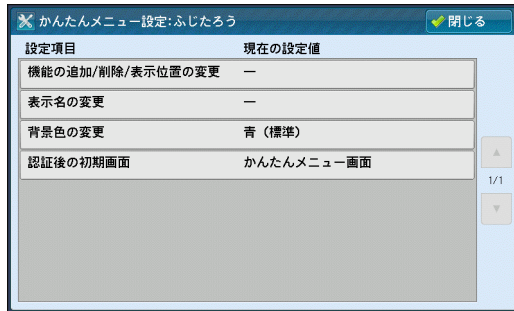
補足

- プライベートプリントを利用していない場合は、この項目は表示されません。
- プライベートプリントのジョブが無い場合は、この設定に関係なく「かんたんメニュー」画面が表示されます。

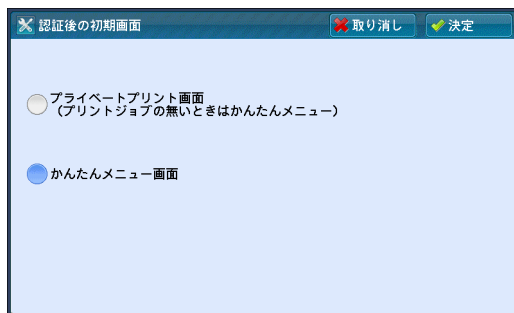
1 「かんたんメニュー」画面で (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



2 [認証後の初期画面] を選択します。



3 初期画面として表示させる項目を選択します。



■ プライベートプリント画面（プリントジョブの無いときはかんたんメニュー）

機械に、プライベートプリントのジョブがある場合は、プライベートプリント画面を表示します。

補足

- この項目を選択すると、[かんたんメニュー] 画面にプライベートプリントの機能ボタンが追加されます。
このボタンが不要な場合は、[機能の追加 / 削除 / 表示位置の変更] から削除できます。
ただし、プライベートプリント機能を利用する場合は、[かんたんメニュー] 画面にプライベートプリントの機能ボタンを表示しておくことをお勧めします。

■ かんたんメニュー画面


ジョブの有無に関わらず [かんたんメニュー] 画面を表示します。

4 [決定] を押します。

5 [閉じる] を押します。

管理者設定

機械管理者は、認証ユーザーの [かんたんメニュー] 画面に [すべての機能] ボタン

と  (かんたんメニュー設定) ボタンを表示させるかどうかを設定できます。

また、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押したときの動作を設定できます。

補足

- 機械管理者としてログインした場合は、ここでの設定に関係なく [すべての機能] ボタンと [かんたんメニュー設定] ボタンが表示されます。

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



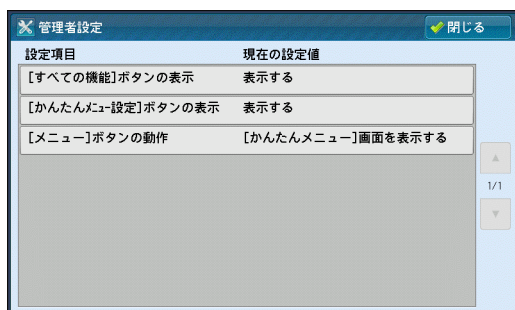
補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

- 3 [かんたんメニュー] 画面で  (管理者設定) ボタンを押します。




- 4 任意の項目を設定します。



■ [すべての機能] ボタンの表示

[すべての機能] ボタンを認証ユーザーの [かんたんメニュー] 画面に表示させるかどうかを設定します。

■ [かんたんメニュー設定] ボタンの表示

 (かんたんメニュー設定) ボタンを認証ユーザーの [かんたんメニュー] 画面に表示させるかどうかを設定します。

■ [メニュー] ボタンの動作

操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押したときに表示される画面を設定します。[通常の [メニュー] 画面を表示する]、[[かんたんメニュー] 画面を表示する] から選択します。

注記

- [[すべての機能] ボタンの表示] で [表示しない] を設定している場合は、[[メニュー] ボタンの動作] では [通常の [メニュー] 画面を表示する] を設定することをお勧めします。
[[かんたんメニュー] 画面を表示する] を選択した場合、認証ユーザーが通常メニュー画面を表示できなくなります。

5 [閉じる] を押します。**トラブル対処**

「かんたんメニュー」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
準備中または選択された機能は使用できません。	<p>[かんたんメニュー] 画面の機能が何らかの原因で使用できない場合に表示されます。</p> <p>[閉じる] を押したあと、機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>
<p>機械内部で異常が発生しました。</p> <p>電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。</p> <p>なおらないときは、機械管理者に連絡してください。</p>	<p>お使いの機械が異常を検知した場合に表示されます。</p> <p>画面の指示に従って、機械を再起動してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。</p>

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、「かんたんメニュー」のコンテンツ情報が必要な場合があります。以下の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

補足

- 「かんたんコピー」や「自分にメール」など、各機能のコンテンツ情報を確認する方法は、各機能の「コンテンツ情報」を参照してください。

1 [かんたんメニュー] 画面の表示中に、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを5秒以上押します。**2** コンテンツ情報を確認します。**3** [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「かんたんメニュー」を使用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 「かんたんメニュー」は最大 1000 ユーザーの設定を保持します。
設定ユーザー数が 1000 を越えた場合は、最終利用日の最も古いユーザーの情報が削除されます。
- 「かんたんメニュー」画面を認証後の初期画面とする場合は、お使いの機械の「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」>「共通設定」>「画面 / ボタンの設定」>「初期表示画面」を「メニュー」に設定する必要があります。
- 「かんたんメニュー」で「認証後の初期画面」を「プライベートプリント画面」に設定した場合でも、同一ユーザーが連続して認証した場合には、プライベートプリント画面ではなく、「かんたんメニュー」画面が表示されることがあります。この場合には、「かんたんメニュー」画面上の「プライベートプリント」ボタンを押して、プライベートプリント画面を表示させてください。
- IC カード認証とキーボード入力での認証を併用している場合には、同一ユーザーであっても IC カードで認証した場合と、キーボードで認証した場合で表示される「かんたんメニュー」が異なることがあります。ただし、プライベートプリント文書に関しては、同一ユーザーのものとして扱われます。
- 各ユーザーが「かんたんメニュー」の設定を一度変更すると、その後、機械管理者が設定を変更しても、そのユーザーの「かんたんメニュー」には反映されません。
- 認証機能の設定を「認証しない」に変更した場合、各ユーザーの「かんたんメニュー」画面は表示できなくなります。本体認証、または外部認証を設定すると、再び利用できるようになります。
- お使いの機械で認証ユーザーの設定を削除しても、そのユーザーの「かんたんメニュー」のデータは削除されません。「かんたん UI パッケージ」をアンインストールすると、すべてのユーザーの「かんたんメニュー」のデータを削除できます。
- 利用できない機能や利用が制限されている機能は、「かんたんメニュー」画面上では制限されていることを示すアイコン等は表示されません。
- 追加型アプリケーションである「かんたんメニュー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

かんたんコピー

「かんたんコピー」とは、簡単な手順で操作、設定ができるコピー機能です。

少ない手間ですぐホチキスやレイアウトなどの設定ができ、設定した内容はイラストで表示されるので、仕上がりがひと目でわかります。

ここでは、本機能に関する、次の項目について説明します。

コピーする	19
コピーを中止する	20
各画面について	21
管理者設定	26
トラブル対処	28
注意 / 制限事項	31

コピーする

「かんたんコピー」の、基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿送り装置、または原稿ガラスに原稿をセットします。



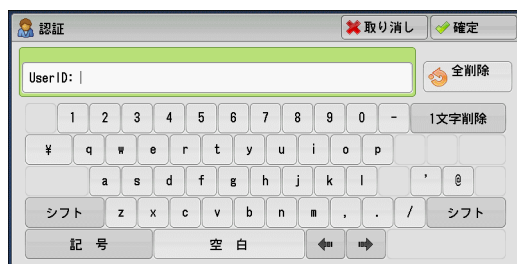
- 原稿をセットする方法については、『ユーザズガイド』を参照してください。



- 本機能では、定形サイズの前稿のみコピーできます。

2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。

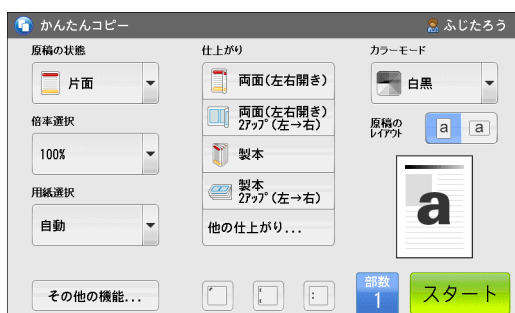


- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

4 メニュー画面で、[かんたんコピー] を押します。



5 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

- 各設定項目について、詳しくは「[かんたんコピー] 画面」(P.21) を参照してください。

6 操作パネルの〈数字〉ボタンでコピー部数を入力します。 入力した部数は、タッチパネルディスプレイの[部数]に表示されます。

補足

- コピー部数は、999 部まで入力できます。
- 入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。

7 [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

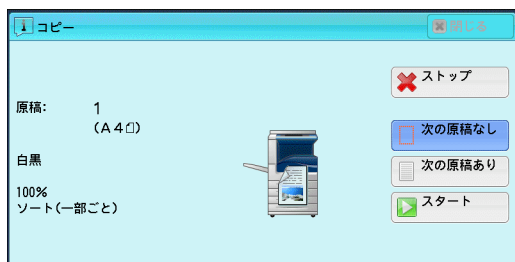
注記

- [かんたんコピー] 画面が表示されている間は、ジョブの割り込みはできません。

コピーを中止する

コピーを中止する手順について説明します。

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの[ストップ]を押します。



2 [中止] を押します。



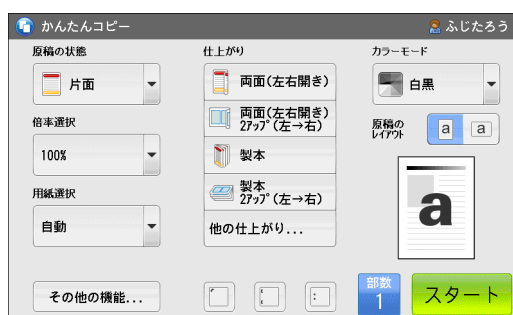
各画面について

[かんたんコピー] 画面

[かんたんコピー] 画面で設定できる項目について説明します。

補足

- 設定した内容は、イラストで確認できます。



■ 原稿の状態

[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)] から選択します。

■ 倍率選択

[100%]、[自動%]、[その他の倍率] から選択します。[その他の倍率] を選択すると、[倍率選択] 画面が表示されます。

参照

- [倍率選択] 画面について、詳しくは「[倍率選択] 画面」(P.25) を参照してください。

補足

- [自動%] を選択した場合は、[用紙選択] で [自動] 以外が指定されます。
- [100%]、および [自動%] は、[倍率選択] 画面の [ちょっと小さめ] と同時に設定できません。
- N アップ、および製本を設定している場合は、[自動%] が指定されます。

■ 用紙選択

使用するサイズの用紙が入っているトレイを選択します。

トレイ 1～4、および手差しトレイのうち、お使いの機器に装着されている用紙トレイと、[自動] が表示されます。

補足

- 用紙トレイにセットできる用紙サイズは、A5、A4、A3、B5、B4、8.5 × 11" (Letter)、8.5 × 13"、8.5 × 14" (Legal)、11 × 17" (Ledger) です。それ以外のサイズの用紙は認識されません。
- 選択している用紙トレイが何らかの理由で使用できない場合、自動的に別の用紙トレイに切り替わることがあります。

■ 仕上がり

[両面 (左右開き)]、[両面 (左右開き) 2 アップ (左→右)]、[製本]、[製本 2 アップ (左→右)]、[他の仕上がり] から選択します。

[他の仕上がり] を選択すると、[仕上がり設定] 画面が表示されます。




参照

- [仕上がり設定] 画面について、詳しくは「[仕上がり設定] 画面」(P.24) を参照してください。

補足

- 製本を設定すると、お使いの機種で中とじ機能が利用できる場合は、用紙を二つ折りにしたものにホチキスを留めてコピーします。中とじ機能が利用できない場合は、用紙にページを割り付けてコピーします。
- 製本は、その他の機能画面の [ミックスサイズ原稿送り] と同時に設定できません。

■ ホチキス、パンチボタン

 (左上ホチキス 1 箇所)、 (左ホチキス 2 箇所)、 (左パンチ 2 箇所) のいずれかを選択します。

選択を解除する場合は、もう 1 度ボタンを押してください。

補足

- この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- お使いの機種によって、表示される項目が異なります。
- ホチキスとパンチは、同時に指定できます。
- ここに表示されていないホチキス位置、パンチ位置を選択したい場合は、[仕上がり] で [他の仕上がり] を押し、表示された画面で選択できます。

■ カラーモード

[自動]、[フルカラー]、[白黒]、[2 色カラー (赤 / 黒)]、[他の 2 色カラー] から選択します。[他の 2 色カラー] を選択すると、[2 色カラーの選択] 画面が表示されます。

参照

- [2 色カラーの選択] 画面について、詳しくは「[2 色カラーの選択] 画面」(P.25) を参照してください。

補足

- この項目は、カラー機でのみ表示されます。
- カラーコピーが禁止されたユーザーの場合は、[白黒] に固定されます。
- 白黒コピーが禁止されたユーザーの場合は、[自動]、および [白黒] は設定できません。

■ 原稿のレイアウト

たて原稿、よこ原稿のいずれかを選択します。

■ その他の機能

選択すると、その他の機能画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「その他の機能画面」(P.23) を参照してください。

その他の機能画面

その他の機能画面で設定できる項目について説明します。



■ 原稿セット向き指定

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き] から選択します。

■ コピー濃度

◀、▶ を押して、コピー濃度を 7 段階で調節できます。

■ 原稿の種類

原稿の種類を、[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

■ 地色除去する

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてコピーできます。設定する場合はチェックしてください。

■ ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにコピーしたり、1つのサイズにそろえてコピーしたりできます。この機能を使う場合は、原稿送り装置に原稿をセットします。設定する場合はチェックしてください。

補足

- この機能を設定するには、お使いの機種によってはオプションが必要です。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- 製本と同時に設定できません。

■ スタンプ

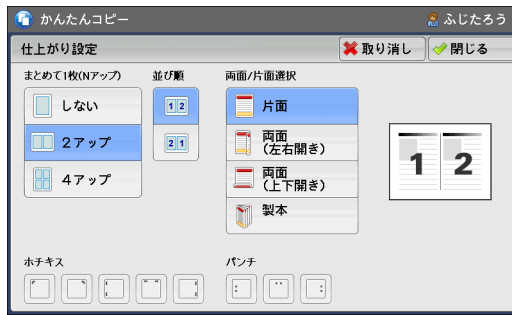
選択すると、[スタンプ] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[スタンプ] 画面」(P.26) を参照してください。

[仕上がり設定] 画面

[仕上がり設定] 画面で設定できる項目について説明します。



補足

- 設定した内容は、イラストで確認できます。
- [仕上がり設定] 画面からコピーを開始する場合は、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。部数の確認、および変更をしたい場合は、[閉じる] を押して [かんたんコピー] 画面に戻ります。

■ まとめて1枚 (N アップ)

[しない]、[2 アップ]、[4 アップ] から選択します。

■ 並び順

[N アップ] で [2 アップ]、または [4 アップ] を設定した場合、どのようにレイアウトするか選択します。

補足

- [まとめて1枚 (N アップ)] を [しない] に設定している場合、表示されません。また、[まとめて1枚 (N アップ)] での設定により、表示される項目が異なります。

■ 両面 / 片面選択

[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)]、[製本] から選択します。

補足

- 製本を設定すると、お使いの機種で中とじ機能が利用できる場合は、用紙を二つ折りにしたものにホチキスを留めてコピーします。中とじ機能が利用できない場合は、用紙にページを割り付けてコピーします。
- 製本は、その他の機能画面の [ミックスサイズ原稿送り] と同時に設定できません。

■ ホチキス

(左上1箇所)、 (右上1箇所)、 (左2箇所)、 (上2箇所)、 (右2箇所) から選択します。

選択を解除する場合は、もう1度ボタンを押してください。

補足

- この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- お使いの機種で利用できる機能によって、表示される項目が異なります。

■ パンチ

(左2穴)、 (上2穴)、 (右2穴) から選択します。

選択を解除する場合は、もう1度ボタンを押してください。

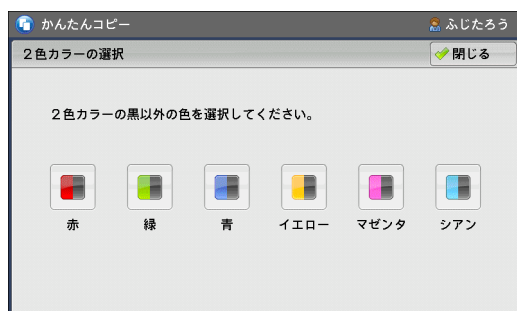
補足

- この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- お使いの機種で利用できる機能によって、表示される項目が異なります。

[2色カラーの選択] 画面

[2色カラーの選択] 画面では、2色カラーでコピーする場合の、黒以外の色を選択できます。

色を選択すると、[かんたんコピー] 画面に戻ります。



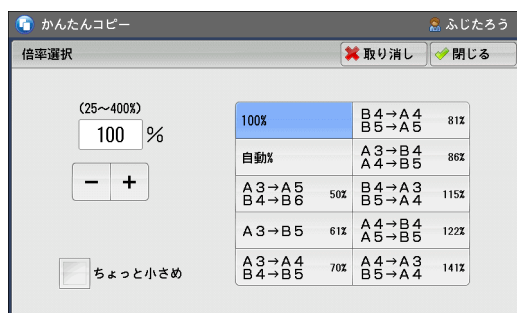
[赤]、[緑]、[青]、[イエロー]、[マゼンタ]、[シアン] から選択します。

[倍率選択] 画面

[倍率選択] 画面では、倍率をボタンから選択、または直接入力できます。

ボタンから選択する場合は、[100%]、[自動%]、または定形変倍のボタンから選択します。

直接入力する場合は、操作パネルの〈数字〉ボタンで数値を入力するか、[+] [-] を押して、25～400%の範囲で指定します。



参照

- 定形サイズ原稿から定形サイズ用紙に拡大/縮小コピーをするときのコピー倍率について、詳しくは『ユーザーズガイド』を参照してください。

補足

- [倍率選択] 画面からコピーを開始する場合は、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。部数確認、および変更をしたい場合は、[閉じる]を押して[かんたんコピー]画面に戻ります。

■ ちょっと小さめ

倍率を、定形変倍ボタンから選択した場合、画像が欠けないように、選択した倍率よりも少しだけ縮小してコピーします。設定する場合はチェックしてください。

補足

- [100%]、[自動%] を選択した場合は設定できません。

[スタンプ] 画面

[スタンプ] 画面では、用紙に印字するスタンプを選択できます。



注記

- 強制複製管理、UUID 印字、および強制アノテーションを設定している場合は、赤色のスタンプを選択しても、正しい色で印字されません。

補足

- カラーコピー、および2色カラーが禁止されたユーザーの場合は、すべてのスタンプが黒で印字されます。
- [スタンプ] 画面からコピーを開始する場合は、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。部数の確認、および変更をしたい場合は、[閉じる] を押してその他の機能画面に戻ります。

管理者設定

機械管理者は、各機能の初期値を設定できます。よく使う機能を初期値に設定しておくことで便利です。

- 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



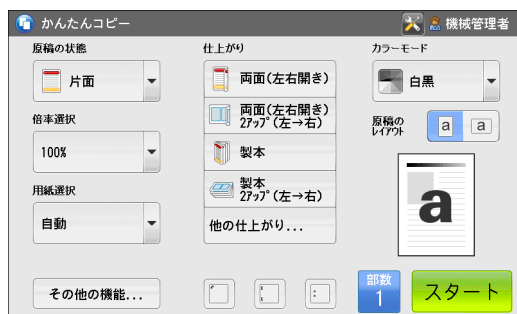
補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

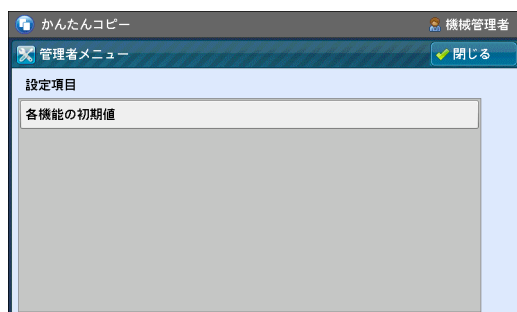
- メニュー画面で、[かんたんコピー] を押します。



4 (管理者メニュー) ボタンを押します。



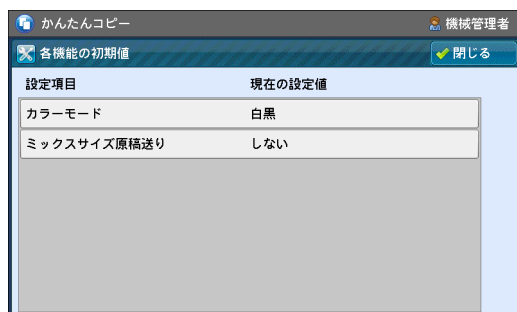
5 [各機能の初期値] を押します。



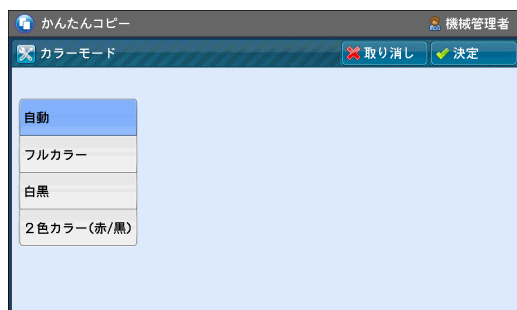
6 設定する項目を選択します。

補足

- ここでは、[カラーモード] を選択した例で説明します。



7 任意の項目を選択し、[決定] を押します。



8 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

設定できる項目

■ カラーモード

「[カラーモード]」の初期値を、[自動]、[フルカラー]、[白黒]、[2色カラー（赤 / 黒）]から選択します。

補足

- この項目は、カラー機でのみ表示されます。

■ ミックスサイズ原稿送り

ミックスサイズ原稿送りの初期値を、[しない]、[する] から選択します。

トラブル対処

「かんたんコピー」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
よこ置きの用紙がありません。 [製本] を使用するときは、よこ置きの用紙をセットして [用紙情報の更新] を押してください。	このメッセージは、製本を指定し、かつ用紙がよこ置きにセットされたトレイがない場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。 用紙をよこ置きにセットし直し、[用紙情報の更新] を押してください。 製本の設定を解除する場合は、[取り消し] を押して設定し直してください。 注記 <ul style="list-style-type: none"> トレイのセット後、すぐに [用紙情報の更新] を押すと、用紙サイズ、および用紙残量を正しく検知できないことがあります。しばらくしてから [用紙情報の更新] を押してください。
スタートできません。 [製本] を使用するときは、よこ置きの用紙を選択してください。	このメッセージは、製本を指定し、用紙がたて置きにセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、よこ置きに用紙がセットされたトレイを指定してください。
スタートできません。 [製本] を使用するときは、よこ置きの用紙をセットして [用紙情報の更新] を押してください。	このメッセージは、製本を指定し、用紙がたて置きにセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。 指定しているトレイの用紙を、よこ置きにセットし直し、[用紙情報の更新] を押してください。 製本の設定を解除する場合は、[取り消し] を押して設定し直してください。 注記 <ul style="list-style-type: none"> トレイのセット後、すぐに [用紙情報の更新] を押すと、用紙サイズ、および用紙残量を正しく検知できないことがあります。しばらくしてから [用紙情報の更新] を押してください。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 選択された用紙には折り / ホチキス ができません。 折り / ホチキスを解除してコピーし ますか？	このメッセージは、製本を指定し、かつ A5 の用紙が よこ置きでセットされたトレイを指定している場合 に表示されます。 A5 の用紙で製本をすると、折り、およびホチキスが できません。 そのままジョブを続ける場合は、[はい] を押してく ださい。 トレイを指定し直す場合は、[いいえ] を押してメッ セージ画面を閉じ、設定し直してください。
あなたはこの機能の使用が禁止され ています。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユー ザーが、本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設 定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、 [コピー] の制限を解除してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由でコピーが利用で きない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消 灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスト マーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡くだ さい。
使用できる用紙トレイがありませ ん。 使用できる用紙をトレイにセットし て [用紙情報の更新] を押してくだ さい。	このメッセージは、利用できるサイズ of 用紙が入っ ているトレイが存在しないなど、利用可能な用紙ト レイがない場合に表示されます。 トレイに、利用可能なサイズの用紙をセットし直し、 [用紙情報の更新] を押してください。
用紙がセットされているトレイがあ りません。 用紙をトレイにセットして [用紙情 報の更新] を押してください。	このメッセージは、トレイで [自動] を指定し、か つ用紙が入っているトレイが存在しない場合に表示 されます。 トレイに用紙をセットし、[用紙情報の更新] を押し てください。
スタートできません。 あなたが使用したコピーの累積ペー ジ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのコピーの累積ペー ジ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管 理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユー ザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ペー ジ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管 理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユー ザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を 増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止され ています。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユー ザーが [スタート]、または操作パネルの〈スター ト〉ボタンを押した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設 定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、 [コピー] の制限を解除してください。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 この機械のコピーの累積ページ数が 上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、機械のコピーの累積ページ数が 上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設 定] > [集計管理] > [機械管理者のコピー集計確 認] で、コピーの累積ページ数をリセットしてくだ さい。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止され ているか、ユーザー認証されていま せん。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユー ザーが [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉 ボタンを押した場合に表示されます。また、認 証ユーザーとして登録されていない場合にも表示さ れます。 コピーの利用を禁止されたユーザーが [スタート]、 または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場 合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕 様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確 認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。 認証ユーザーとして登録されていない場合、機械管 理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録し てください。
スタートできません。 ジョブが終了するのを待って、もう 一度操作してください。	このメッセージは、ジョブの実行中に [スタート]、 または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場 合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、しばらく してからやり直してください。
スタートできません。 [仕上がり] の [両面] / [製本] の 設定を解除するか、他の用紙を選択 してください。	このメッセージは、[仕上がり] で両面または製本を 指定し、かつ両面または製本ができない種類の用紙 がセットされたトレイを指定している場合に表示さ れます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、両面また は製本を解除するか、または他の用紙トレイを指定 してください。
スタートできません。 [製本] の設定を解除するか、他の 用紙を選択してください。	このメッセージは、製本を指定し、かつ製本ができ ない種類の用紙がセットされたトレイを指定してい る場合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、製本を解 除するか、または他の用紙トレイを指定してくださ い。
スタートできません。 [パンチ] の設定を解除するか、他 の用紙を選択してください。	このメッセージは、パンチを指定し、かつパンチが できない種類の用紙がセットされたトレイを指定し ている場合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、パンチを 解除するか、または他の用紙トレイを指定してくだ さい。
スタートできません。 [ホチキス] の設定を解除するか、 他の用紙を選択してください。	このメッセージは、ホチキスを指定し、かつホチキ スができないサイズの用紙がセットされたトレイを 指定している場合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、ホチキス を解除するか、または他の用紙トレイを指定してく ださい。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 [パンチ] の設定を解除するか、他の用紙を選択してください。	このメッセージは、パンチを指定し、かつパンチができないサイズの出紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、パンチを解除するか、または他の用紙トレイを指定してください。
スタートできません。 選択されている用紙は使用できません。 他の用紙を選択してください。	このメッセージは、利用できないサイズの用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる] を押してメッセージ画面を閉じ、他の用紙トレイを指定してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

- 1 「かんたんコピー」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを5秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「かんたんコピー」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- フィニッシャーが何らかの理由で使用できない場合、本機能でフィニッシャーが必要な機能を指定すると、自動的にそれらの指定が解除され、コピーされます。たとえば、ホチキスカートリッジが交換時期である場合、ホチキスを指定すると、自動的にホチキスの指定は解除され、コピーされます。
- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー (オプション) を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer (別売) や CoinKit (別売) など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- お使いの機械での排出先の設定によっては、エラーが起こり、出力できないことがあります。その場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [コピー設定]

> [コピー機能設定初期値] > [排出先] で、適切な排出先を初期値に設定してください。

- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーの利用を制限していても、「かんたんコピー」が利用可能な状態となります。
- 追加型アプリケーションである「かんたんコピー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

自分にメール

「自分にメール」とは、簡単な手順で、スキャンデータを認証ユーザーのメールアドレス宛てに送信できる機能です。

文書のファイル名を、あらかじめ登録されているパターンから選択したり、少ない手間で詳細な設定ができます。

ここでは、本機能に関する、次の項目について説明します。

スキャンする	33
スキャンを中止する	34
各画面について	35
管理者設定	41
トラブル対処	45
注意 / 制限事項	48

スキャンする

「自分にメール」の、基本的な操作の流れを説明します。

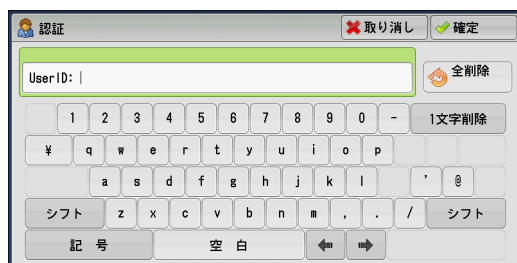
1 原稿をセットします。



- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

4 メニュー画面で、[自分にメール] を押します。



5 必要に応じて、各項目を設定します。



- 各設定項目について、詳しくは「[自分にメール] 画面」(P.35) を参照してください。

6 [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

- 7 認証ユーザーのメールアドレス宛てに、メールが届いているか確認します。
スキャンデータは、メールに添付されているか、またはメールに記載された URL をクリックすると取り出せます。

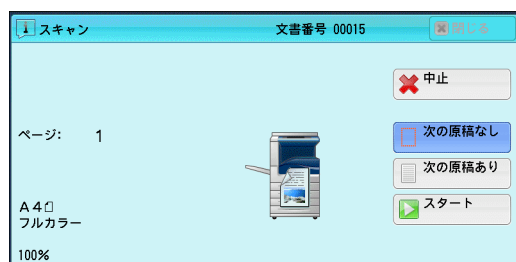
スキャンを中止する

スキャンを中止する手順について説明します。

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの [ストップ] を押します。



- 2 [中止] を押します。



各画面について

[自分にメール] 画面

[自分にメール] 画面で設定できる項目について説明します。



■ 両面原稿送り

[片面]、[両面（左右開き）]、[両面（上下開き）] から選択します。

補足

- [ページ連写] 画面で、ページ連写の設定をしている場合は、[両面（左右開き）]、および [両面（上下開き）] は設定できません。

■ 出力ファイル形式

[PDF]、[高圧縮 PDF]、[DocuWorks]、[TIFF]、[JPEG] から選択します。

補足

- お使いの機種によっては、[高圧縮 PDF] は表示されません。
- [読み取り解像度] で [400dpi]、または [600dpi] に設定している場合、[高圧縮 PDF] を選択すると、自動で [300dpi] に変更されます。
- [カラーモード] で [白黒（2 階調）] に設定している場合、[高圧縮 PDF] を選択すると、次のように変更されます。
 - カラースキャン利用許可ユーザーの場合：[自動]
 - カラースキャン利用禁止ユーザーの場合：[グレースケール]
- [カラーモード] で [白黒（2 階調）] に設定している場合、[JPEG] を選択すると、自動で [グレースケール] に変更されます。

■ カラーモード

[自動]、[フルカラー]、[白黒（2 階調）]、[グレースケール] から選択します。

補足

- カラースキャンを禁止されたユーザーが [自動]、[フルカラー] を選択した場合、および白黒スキャンを禁止されたユーザーが [自動]、[白黒（2 階調）]、[グレースケール] を選択した場合、エラーメッセージが表示され、設定できません。
- [出力ファイル形式] で [高圧縮 PDF] に設定している場合、[白黒（2 階調）] を選択すると、自動で [PDF] に変更されます。
- [出力ファイル形式] で [JPEG] に設定している場合、[白黒（2 階調）] を選択すると、自動で [TIFF] に変更されます。

■ 原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

■ 読み取り解像度

[200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。

補足

- [出力ファイル形式] で [高圧縮 PDF] に設定している場合、[400dpi]、または [600dpi] を選択すると、自動で [PDF] に変更されます。

■ ファイル名

選択すると、[ファイル名] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.39) を参照してください。

■ その他の機能

選択すると、その他の機能画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「その他の機能画面」(P.36) を参照してください。

その他の機能画面

その他の機能画面で設定できる項目について説明します。



■ 原稿セット向き指定

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き] から選択します。

補足

- [ページ連写] 画面で [左とじ原稿 (よこ書き)]、または [右とじ原稿 (たて書き)] を設定している場合、[左向き] は設定できません。
- [ページ連写] 画面で [上とじ原稿 (よこ書き)] を設定している場合、[読める向き] は設定できません。

■ 読み込み濃度

◀、▶ を押して、スキヤンの濃度を 7 段階で調節できます。

■ ページ連写

選択すると、[ページ連写] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[ページ連写] 画面」(P.37) を参照してください。

■ 画質 / ファイルサイズ

選択すると、[画質 / ファイルサイズ] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[画質 / ファイルサイズ] 画面」(P.39) を参照してください。

■ ファイルの送付方法

選択すると、[ファイルの送付方法] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[ファイルの送付方法] 画面」(P.40) を参照してください。
- 管理者の設定によっては、表示されない場合があります。設定方法は、「管理者設定」(P.41) を参照してください。

■ 地色除去する

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてスキャンできます。設定する場合はチェックしてください。

■ 裏写り防止する

薄い紙に両面にプリントしてある原稿などをスキャンする場合、原稿の裏が写らないようにできます。設定する場合はチェックしてください。

■ ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにスキャンしたり、1つのサイズにそろえてスキャンしたりできます。設定する場合はチェックしてください。

■ 1 ページずつ分割（PDF/DocuWorks）

複数枚の原稿を一度に読み取ったときに、スキャンデータを 1 ページずつに分割します。設定する場合はチェックしてください。

注記

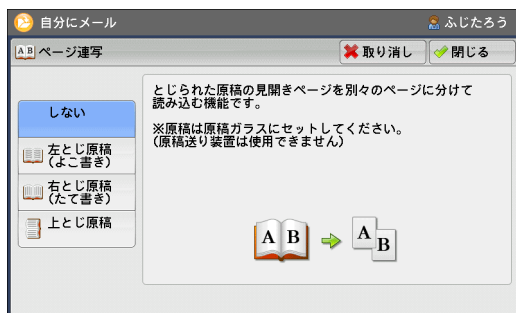
- この項目をチェックした場合、[出力ファイル形式] は、必ず [PDF]、または [DocuWorks] に設定してください。

■ もどる

この画面での設定を保持して、[自分にメール] 画面に戻ります。

[ページ連写] 画面

ページ連写とは、本などの冊子の見開きページを別々のページとして、ページ順にスキャンする機能です。原稿の左右のページを分けてスキャンしたいときに便利です。設定が終わったら、[閉じる] を押します。



補足

- この機能は、原稿送り装置では使用できません。
- 定形サイズ以外の原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に 2 分割されないことがあります。
- [自分にメール] 画面の [両面原稿送り] で、[両面（左右開き）]、または [両面（上下開き）] に設定している場合、ページ連写を設定すると、自動で [片面原稿] に変更されます。

■ しない

ページ連写をしません。

■ 左とじ原稿（よこ書き）

左ページから始まる見開き原稿の左のページからスキャンします。

補足

- その他の機能画面の「原稿セット向き」で、「左向き」に設定している場合、「左とじ原稿（よこ書き）」を設定すると、自動で「読める向き」に変更されます。

■ 右とじ原稿（たて書き）

右ページから始まる見開き原稿の右のページからスキャンします。

補足

- その他の機能画面の「原稿セット向き」で、「左向き」に設定している場合、「右とじ原稿（たて書き）」を設定すると、自動で「読める向き」に変更されます。

■ 上とじ原稿

上ページから始まる見開き原稿の上のページからスキャンします。

補足

- その他の機能画面の「原稿セット向き」で、「読める向き」に設定している場合、「上とじ原稿」を設定すると、自動で「左向き」に変更されます。

■ 両ページ

両方のページをページ順にスキャンします。

■ 左ページのみ

左ページだけをスキャンします。「左とじ原稿（よこ書き）」または「右とじ原稿（たて書き）」を選択している場合に選択できます。

■ 右ページのみ

右ページだけをスキャンします。「左とじ原稿（よこ書き）」または「右とじ原稿（たて書き）」を選択している場合に選択できます。

■ 上ページのみ

上ページだけをスキャンします。「上とじ原稿」を選択している場合に選択できます。

■ 下ページのみ

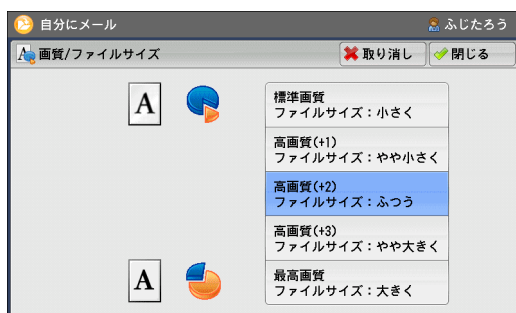
下ページだけをスキャンします。「上とじ原稿」を選択している場合に選択できます。

■ 中消し

見開き原稿の中央部の影を消します。中消しの幅は、0 ～ 50mm の範囲で 1mm 単位に指定します。

「画質 / ファイルサイズ」画面

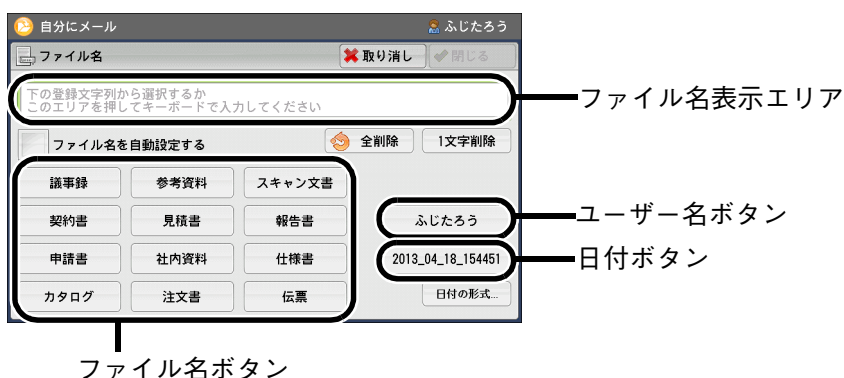
「画質 / ファイルサイズ」画面では、画質とファイルサイズを5段階から設定できます。
 「標準画質 ファイルサイズ：小さく」、
 「高画質 (+1) ファイルサイズ：やや小さく」、
 「高画質 (+2) ファイルサイズ：ふつう」、
 「高画質 (+3) ファイルサイズ：やや大きく」、
 「最高画質 ファイルサイズ：大きく」 から選択し、「閉じる」を押します。



「ファイル名」画面

「ファイル名」画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。

設定が終わったら、「閉じる」を押します。



補足

- ファイル名は、全角 14 文字以内、半角 128 文字以内で入力できます。
- ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「_」が入ります。

■ ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

■ ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMM」に設定されます。

補足

- 「YYYY_MMDD_HHMM」は、スキャン開始時の年月日時分です。

■ 全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

■ 1 文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

■ ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

■ ユーザー名ボタン

認証ユーザーのユーザー名が表示されています。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。

■ 日付ボタン

日付が表示されています。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。

■ 日付の形式

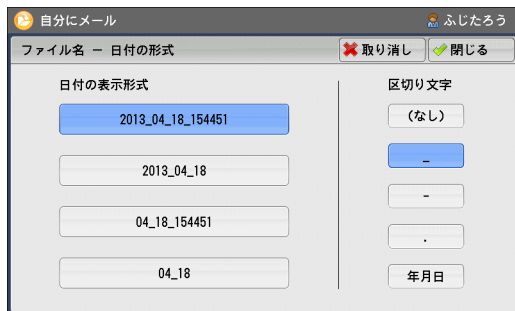
選択すると、[ファイル名 - 日付の形式] 画面が表示されます。



- 詳しくは、「[ファイル名 - 日付の形式] 画面」(P.40) を参照してください。

[ファイル名 - 日付の形式] 画面

[ファイル名] 画面の [日付] に表示される日付の、形式を設定できます。設定が終わったら、[閉じる] を押します。



■ 日付の表示形式

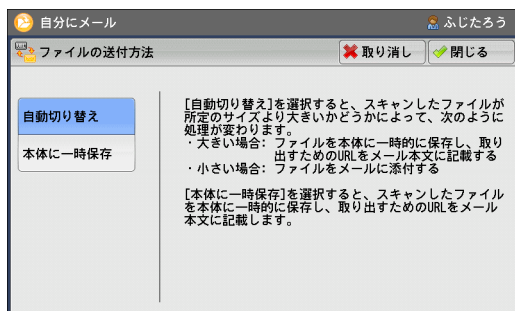
日付の表示形式を、「YYYY_MM_DD_HHMMSS」、「YYYY_MM_DD」、「MM_DD_HHMMSS」、「MM_DD」から選択します。

■ 区切り文字

YYYY、MM、DD、HHMMSS の区切りを「_」、「-」、「.」、「年月日」から選択します。

[ファイルの送付方法] 画面

スキャンデータの送付方法を選択できます。設定が終わったら、[閉じる] を押します。



■ 自動切り替え

スキャンデータのサイズによって、メールに添付するか、[本体に一時保存] の動作をするかが、自動的に切り替わります。

■ 本体に一時保存

スキャンデータを本体に一時的に保存し、認証ユーザーのメールアドレスに、取り出し用と削除用の URL が記載されたメールを送信します。

注記

- ファイアウォールを使った環境では、[本体に一時保存] に設定してスキャンデータを送信した場合、外部のネットワークに接続されたコンピュータで、指定された URL からスキャンデータの閲覧、および取り出しができません。
その場合、[自動切り替え] に設定すると、スキャンデータがメールに添付され、取得できますが、ネットワークの接続のしかたによっては、スキャンデータのセキュリティが保護されないことがあります。

管理者設定

機械管理者は、各機能の初期値や、ファイル名の定型文字列、ファイルの送付方法の切り替えなどを設定できます。

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

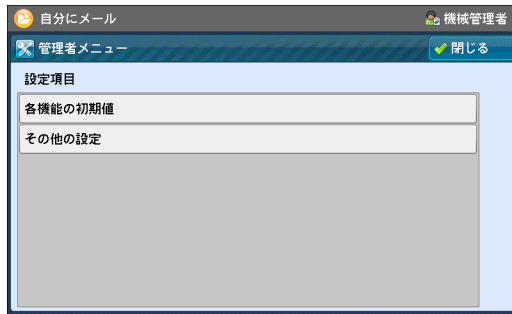
- 3 メニュー画面で、[自分にメール] を押します。



4 設定する項目を選択します。

補足

- ここでは、[各機能の初期値] を選択した例で説明します。



5 設定する項目を選択します。

補足

- ここでは、[両面原稿送り] を選択した例で説明します。



6 任意の項目を選択し、[決定] を押します。



7 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

設定できる項目（各機能の初期値）

■ 両面原稿送り

[両面原稿送り] の初期値を、[片面]、[両面（左右開き）]、[両面（上下開き）] から選択します。

■ 出力ファイル形式

[出力ファイル形式] の初期値を、[PDF]、[高圧縮 PDF]、[DocuWorks]、[JPEG]、[TIFF] から選択します。

補足

- お使いの機種によっては、[高圧縮 PDF] は表示されません。
- [読み取り解像度] で、初期値を [400dpi]、または [600dpi] に設定している場合、[高圧縮 PDF] を選択すると、自動で [300dpi] に変更されます。
- [カラーモード] で、初期値を [白黒 (2 階調)] に設定している場合、[高圧縮 PDF] を選択すると、次のように変更されます。
 - カラースキャン利用許可ユーザーの場合：[自動]
 - カラースキャン利用禁止ユーザーの場合：[グレースケール]
- [カラーモード] で、初期値を [白黒 (2 階調)] に設定している場合、[JPEG] を選択すると、自動で [グレースケール] に変更されます。

■ カラーモード

[カラーモード] の初期値を、[自動]、[フルカラー]、[グレースケール]、[白黒 (2 階調)] から選択します。

補足

- [出力ファイル形式] で、初期値を [高圧縮 PDF] に設定している場合、[白黒 (2 階調)] を選択すると、自動で [PDF] に変更されます。
- [出力ファイル形式] で、初期値を [JPEG] に設定している場合、[白黒 (2 階調)] を選択すると、自動で [TIFF] に変更されます。

■ 原稿の画質

[原稿の画質] の初期値を、[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

■ 読み取り解像度

[読み取り解像度] の初期値を、[200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。

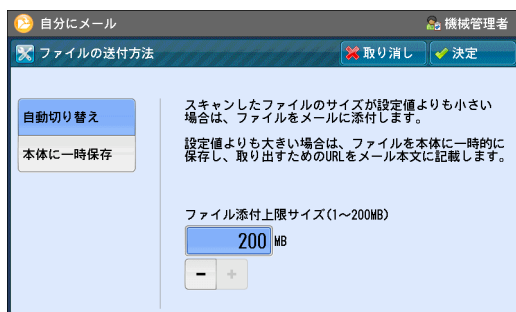
補足

- [出力ファイル形式] で、初期値を [高圧縮 PDF] に設定している場合、[400dpi]、または [600dpi] を選択すると、自動で [PDF] に変更されます。

■ ファイルの送付方法

その他の機能画面の、[ファイルの送付方法] の初期値を、[自動切り替え]、[本体に一時保存] から選択します。

また、[自動切り替え] を選択した場合、添付ファイルの上限サイズを、[+] [-]、または操作パネルの〈数字〉ボタンで設定できます。



注記

- ファイアウォールを使った環境では、[本体に一時保存] に設定してスキャンデータを送信した場合、外部のネットワークに接続されたコンピューターで、指定された URL からスキャンデータの閲覧、および取り出しができません。
その場合、[自動切り替え] に設定すると、スキャンデータがメールに添付され、取得できますが、

ネットワークの接続のしかたによっては、スキャンデータのセキュリティが保護されないことがあります。
 なお、メール添付ができるのは、200MB までです。[ファイル添付上限サイズ] は、200MB に設定してください。

■ 地色除去

その他の機能画面の、[地色除去する] の初期値を、[する]、[しない] から選択します。

■ 裏写り防止

その他の機能画面の、[裏写り防止する] の初期値を、[する]、[しない] から選択します。

■ ミックスサイズ原稿送り

その他の機能画面の、[ミックスサイズ原稿送り] の初期値を、[する]、[しない] から選択します。

■ 1 ページずつ分割 (PDF/DocuWorks)

その他の機能画面の、[1 ページずつ分割 (PDF/DocuWorks)] の初期値を、[する]、[しない] から選択します。

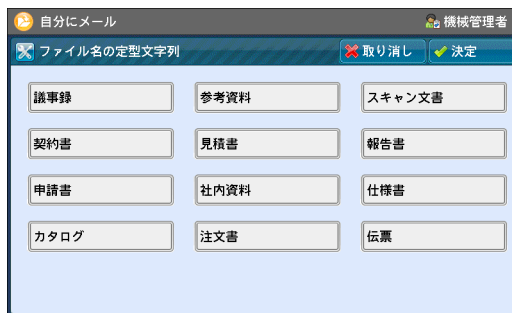
注記

- [する] を選択した場合、[出力ファイル形式] の初期値は、必ず [PDF]、または [DocuWorks] に設定してください。

設定できる項目 (その他の設定)

■ ファイル名の定型文字列

スキャンデータにつけるファイル名を登録しておき、スキャン時に選択できます。
 初期値として、12 種類のファイル名が登録されています。ファイル名のボタンを押すと、キーボードが表示され、文字列を変更できます。



補足

- ファイル名として登録できるのは、全角で 7 文字までです。最大文字数を超えて入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。

■ ファイル送付方法の切り替え

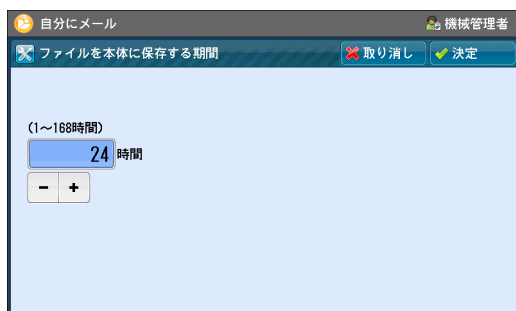
その他の機能画面で [ファイルの送付方法] を表示するかどうかを、[許可]、[禁止] から選択します。

[禁止] を選択すると、[ファイルの送付方法] が非表示になります。

■ ファイルを本体に保存する期間

本体に、一時的に保存される文書の保存期間を、1 時間単位で設定できます。

1 ～ 168 時間の間で、[+] [-]、または操作パネルの〈数字〉ボタンを使って設定します。



トラブル対処

「自分にメール」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
ユーザー認証が運用されていないため、この機能は使用できません。	このメッセージは、認証機能が設定されていない場合に 표시됩니다。 本体認証または外部認証を設定してください。認証機能を設定しない場合は、本機能は利用できませんので、機能ボタンを削除してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「スキャナー（メール送信）」が利用できない場合に 표시됩니다。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
メールアドレスが取得できませんでした。 この機能を使用するには、認証時にメールアドレスが取得する必要があります。	このメッセージは、ユーザーのメールアドレスが設定されていない場合に 표시됩니다。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーのメールアドレスを設定してください。
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキンの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたが使用したスキンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキンの利用を禁止されたユーザーが [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、スキンの利用を禁止されたユーザーが [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。また、認証ユーザーとして登録されていない場合にも表示されます。 スキンの利用を禁止されたユーザーが [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。 認証ユーザーとして登録されていない場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
スタートできません。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして [スタート] ボタンを押してください。	このメッセージは、[ページ連写] を指定し、かつ両面原稿送り装置に原稿をセットして、[スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 [閉じる] を押して前の画面に戻り、原稿を原稿ガラスにセットして、[スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

- 1 「自分にメール」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを 5 秒以上押します。

2 コンテンツ情報を確認します。



3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「自分にメール」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- ログインしたユーザーのメールアドレスが設定されていない場合、エラー画面が表示され、利用できません。
- 同時に、次の条件において、[読み取り解像度] で [600dpi] を指定すると、メモリー不足によるエラーが発生し、400dpi でスキャンされます。
 - フルカラー原稿である（[カラーモード] で [自動] を設定し、フルカラー原稿だと認識された場合も含む）
 - ミックスサイズ原稿送りを設定している
 - 両面を設定している
- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「自分にメール」が利用可能な状態となります。
- 追加型アプリケーションである「自分にメール」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

そのままコピー（片面）、そのままコピー（両面）

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」は、機能ボタンを押すだけで、原稿そのままの色やサイズでコピーできる機能です。

ワンタッチなので、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押す手間も省けます。

ここでは、これらの機能に関する、次の項目について説明します。

各機能の概要.....	49
コピーする	50
トラブル対処.....	51
注意 / 制限事項	52

各機能の概要

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」の機能の概要について説明します。



■ そのままコピー（片面）

機能ボタンを押すだけで、片面の原稿がそのままの色やサイズでコピーできる機能です。

■ そのままコピー（両面）

機能ボタンを押すだけで、両面の原稿がそのままの色やサイズでコピーできる機能です。

各機能の詳細

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」は、自動的に、次の設定で実行されます。

- カラーモード：自動

補足

- ただし、カラーコピーが禁止されたユーザーの場合は、白黒で固定されます。
- 用紙サイズ：自動
- 部数：1 部
- 倍率：100%

コピーする

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」の、基本的な操作の流れを説明します。

- 1 原稿送り装置、または原稿ガラスに原稿をセットします。

参照

- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

- 2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

- 3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 4 メニュー画面で、[そのままコピー（片面）]、または [そのままコピー（両面）] を押します。



コピーが開始されます。

補足

- 複数枚の原稿や両面の原稿を、原稿ガラスで読み取る場合は、[次の原稿あり] を押して次の原稿をセットし、[スタート] を押します。

トラブル対処

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由でコピーが利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
スタートできません。 あなたが使用したコピーの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする • [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 この機械のコピーの累積ページ数が上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、機械のコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [機械管理者のコピー集計確認] で、コピーの累積ページ数をリセットしてください。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、または認証ユーザーとして登録されていない場合に表示されます。 コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。 認証ユーザーとして登録されていない場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
スタートできません。 ジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。	このメッセージは、ジョブの実行中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、しばらくしてからやり直してください。

メッセージ	原因 / 対処
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認（メーター確認）〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。 ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意 / 制限事項

「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate（関連商品）、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示された場合、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行し、認証は解除されます。
このとき、自動リセット後の画面を [メニュー] に設定しておらず、かつアクセス制御で [デバイスへのアクセス] を [制限する] に設定していないと、次のユーザーが認証したタイミングで、エラーが起こったジョブが実行されてしまうことがあります。
- お使いの機械での排出先の設定によっては、エラーが起こり、出力できないことがあります。その場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [コピー設定] > [コピー機能設定初期値] > [排出先] で、適切な排出先を初期値に設定してください。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーの利用を制限していても、「そのままコピー（片面）」、および「そのままコピー（両面）」が利用可能な状態となります。
- 追加型アプリケーションである「自分にメール」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が簡単になるまで時間がかかります。

白黒 A4 にコピー（片面）、白黒 A4 にコピー（両面）

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」は、機能ボタンを押すだけで、原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4 でコピーできる機能です。

ワンタッチなので、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押す手間も省けます。

ここでは、これらの機能に関する、次の項目について説明します。

各機能の概要.....	53
コピーする	53
トラブル対処.....	54
注意 / 制限事項	56

各機能の概要

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」の機能の概要について説明します。



■ 白黒 A4 にコピー（片面）

機能ボタンを押すだけで、原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、片面でコピーできる機能です。

■ 白黒 A4 にコピー（両面）

機能ボタンを押すだけで、原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、両面でコピーできる機能です。

各機能の詳細

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」は、自動的に、次の設定で実行されます。

- カラーモード：白黒
- 用紙サイズ：A4 たて置き
- 部数：1 部
- 倍率：自動

コピーする

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」の、基本的な操作の流れを説明します。

- 1 原稿送り装置、または原稿ガラスに原稿をセットします。



- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

- 2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

- 3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 4 メニュー画面で、[白黒 A4 にコピー（片面）]、または [白黒 A4 にコピー（両面）] を押します。



コピーが開始されます。

補足

- 複数枚の原稿や両面の原稿を、原稿ガラスで読み取る場合は、[次の原稿あり] を押して次の原稿をセットし、[スタート] を押します。

トラブル対処

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由でコピーが利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたが使用したコピーの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 この機械のコピーの累積ページ数が上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、機械のコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [機械管理者のコピー集計確認] で、コピーの累積ページ数をリセットしてください。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、または認証ユーザーとして登録されていない場合に表示されます。 コピーの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。 認証ユーザーとして登録されていない場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
スタートできません。 ジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。	このメッセージは、ジョブの実行中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、しばらくしてからやり直してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認（メーター確認）〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。 ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意 / 制限事項

「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate（関連商品）、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示された場合、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行し、認証は解除されます。
このとき、自動リセット後の画面を「メニュー」に設定しておらず、かつアクセス制御で「デバイスへのアクセス」を「制限する」に設定していないと、次のユーザーが認証したタイミングで、エラーが起こったジョブが実行されてしまうことがあります。
- 認証モードが「外部認証」の場合、「認証システム」を「Authentication Agent」以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーの利用を制限していても、「白黒 A4 にコピー（片面）」、および「白黒 A4 にコピー（両面）」が利用可能な状態となります。

ボックス #001 にスキャン (片面)、ボックス #001 にスキャン (両面)

「ボックス #001 にスキャン (片面)」および「ボックス #001 にスキャン (両面)」は、機能ボタンを押すだけで、スキャンデータを親展ボックスの 001 に保存できる機能です。

ワンタッチなので、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押す手間も省けます。

ここでは、これらの機能に関する、次の項目について説明します。

各機能の概要.....	57
スキャンする.....	57
トラブル対処.....	58
注意 / 制限事項.....	60

各機能の概要

「ボックス #001 にスキャン (片面)」および「ボックス #001 にスキャン (両面)」の機能の概要について説明します。



■ ボックス #001 にスキャン (片面)

機能ボタンを押すだけで、片面原稿をスキャンできる機能です。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。

■ ボックス #001 にスキャン (両面)

機能ボタンを押すだけで、両面原稿をスキャンできる機能です。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。

各機能の詳細

「ボックス #001 にスキャン (片面)」および「ボックス #001 にスキャン (両面)」は、自動的に、次の設定で実行されます。

- カラーモード：自動

補足

- ただし、カラースキャンが禁止されたユーザーの場合は、白黒で固定されます。
- 倍率：100%

スキャンする

「ボックス #001 にスキャン (片面)」および「ボックス #001 にスキャン (両面)」の、基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿をセットします。



- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

- 2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
 - ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。
- 4 メニュー画面で、[ボックス #001 にスキャン（片面）]、または [ボックス #001 にスキャン（両面）] を押します。



スキャンが開始されます。

- 5 親展ボックスの 001 に文書が格納されていることを確認します。

参照

- 親展ボックスに格納された文書を確認する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

トラブル対処

「ボックス #001 にスキャン（片面）」、および「ボックス #001 にスキャン（両面）」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「スキャナー (ボックス保存)」が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、スキャンの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、または認証ユーザーとして登録されていない場合に表示されます。 スキャンの利用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。 認証ユーザーとして登録されていない場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認 (メーター確認)〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。 ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
この機能は使用できません。 以下のような理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボックス 001 が開設されていない ・ ボックス 001 へのアクセス権が制限されている 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、親展ボックスの設定に問題がある場合に表示されます。 本機能を利用するには、機械管理者が親展ボックスの 001 を作成し、かつアクセス制限を設定していない必要があります。機械管理者に、親展ボックスの再設定を依頼してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が利用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意 / 制限事項

「ボックス #001 にスキャン（片面）」、および「ボックス #001 にスキャン（両面）」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate（関連商品）、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示された場合、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行し、認証は解除されます。
このとき、自動リセット後の画面を「メニュー」に設定しておらず、かつアクセス制御で「デバイスへのアクセス」を「制限する」に設定していないと、次のユーザーが認証したタイミングで、エラーが起こったジョブが実行されてしまうことがあります。
- 認証モードが「外部認証」の場合、「認証システム」を「Authentication Agent」以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「ボックス #001 にスキャン（片面）」、および「ボックス #001 にスキャン（両面）」が利用可能な状態となります。

索引

記号・英数

1 ページずつ分割 (PDF/DocuWorks)	37
2 色カラーの選択	25

ウ

裏写り防止する	37
---------------	----

カ

各機能の初期値 (かんたんコピー)	28
各機能の初期値 (自分にメール)	42
画質 / ファイルサイズ	36, 39
カラーモード	22, 35
かんたん UI パッケージ	3
かんたんコピー	19
かんたんコピーを中止する	20
かんたんメニュー	7
管理者設定 (かんたんメニュー)	15

キ

機能ボタンの削除	11
機能ボタンの追加	9

ケ

原稿セット向き指定	23, 36
原稿の画質	35
原稿の種類	23
原稿の状態	21
原稿のレイアウト	22

コ

コピー濃度	23
コピー部数	20
コンテンツ情報 (かんたんコピー)	31
コンテンツ情報 (かんたんメニュー)	17
コンテンツ情報 (自分にメール)	46

シ

仕上がり	22
仕上がり設定	24
地色除去する	23, 37
自分にメール	33
自分にメールを中止する	34
出力ファイル形式	35
白黒 A4 にコピー (片面)	53
白黒 A4 にコピー (両面)	53

ス

スタンプ	23, 26
すべての機能	8

ソ

そのままコピー (片面)	49
そのままコピー (両面)	49

チ

ちょっと小さめ	25
---------------	----

ト

トラブル対処 (かんたんコピー)	28
トラブル対処 (かんたんメニュー)	17
トラブル対処 (自分にメール)	45
トラブル対処 (白黒 A4 にコピー)	54
トラブル対処 (そのままコピー)	51
トラブル対処 (ボックス #001 にスキャン)	58

ナ

並び順	24
-----------	----

ニ

認証後の初期画面	14
----------------	----

ハ

背景色の変更	13
倍率選択	21, 25
パンチ	22, 24

ヒ

日付の形式	40
表示名の変更	12

フ

ファイル送付方法の切り替え	44
ファイルの送付方法	37, 40
ファイル名	36, 39
ファイル名の定型文字列	44
ファイルを本体に保存する期間	45
プライベートプリント	14

ヘ

ページ連写	36, 37
-------------	--------

ホ

ホチキス	22, 24
ボックス #001 にスキャン（片面）	57
ボックス #001 にスキャン（両面）	57

マ

まとめて1枚（Nアップ）	24
--------------------	----

ミ

ミックスサイズ原稿送り	23, 37
-------------------	--------

ヨ

用紙選択	21
読み込み濃度	36
読み取り解像度	36

リ

両面 / 片面選択	24
両面原稿送り	35

ワ

ワンタッチアプリケーション	5
---------------------	---

かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時） 取扱説明書

著作者－富士ゼロックス株式会社

発行年月－2013 年 6 月 第 1 版

発行者－富士ゼロックス株式会社

（帳票番号 :ME6383J1-1）